

ONE  HEART



長野市災害復興計画 令和3年度までの進捗状況について

長野市企画政策部
復興推進特別対策室

防災行政無線(同報系)デジタル化整備事業 令和4年3月完了

主な工事

親局設備更新	1局
遠隔制御装置更新・新設	18局
中継局設備更新	2局
再送信設備新設	6局
屋外拡声子局	494局
戸別受信機更新	4,000台
防災アプリ構築	1式

デジタル化の主な効果

(引き続き、子局の増設や調整で聞こえ方を向上)

◇ 音声到達範囲を拡大

・屋外拡声子局の増設・移設及び従来型のスピーカーの更新、高性能スピーカーを効果的に配置。スピーカーの向き調整により音声到達範囲を拡大。クリアな音声。

◇ 遠隔制御装置を設置

・土砂災害警戒区域がある支所に設置、緊急情報や避難情報等を速やかに放送できるように。(単独放送可能)

◇ 防災アプリ「長野市防災ナビ」の構築 ⇒ ⇒

◇ 双方向通信と設備監視の実現

◇ 他システムとの連携機能の向上



1-2 避難手段や避難場所の検証等

災害復興計画／1-3-4 行政の災害対応力の強化

避難所運営マニュアル(風水害編) 令和4年3月運用開始

(避難所開設マニュアルは令和3年5月運用開始)

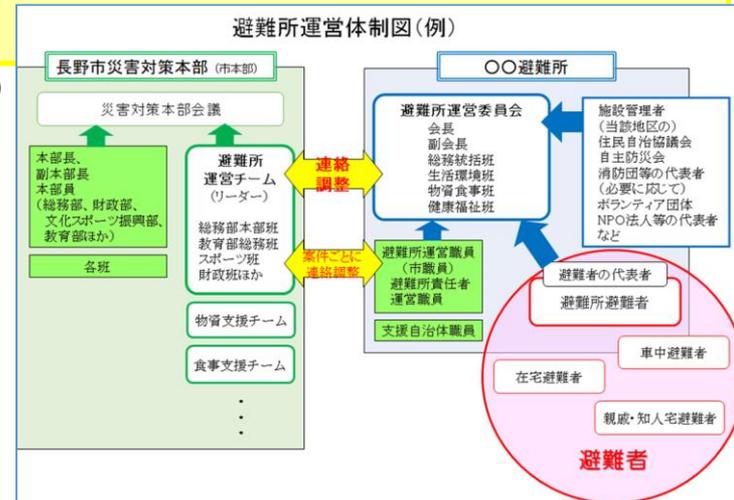
基本的考え方

①避難所における災害関連死を出来る限り防ぐことを目標に、必要な取組を行う

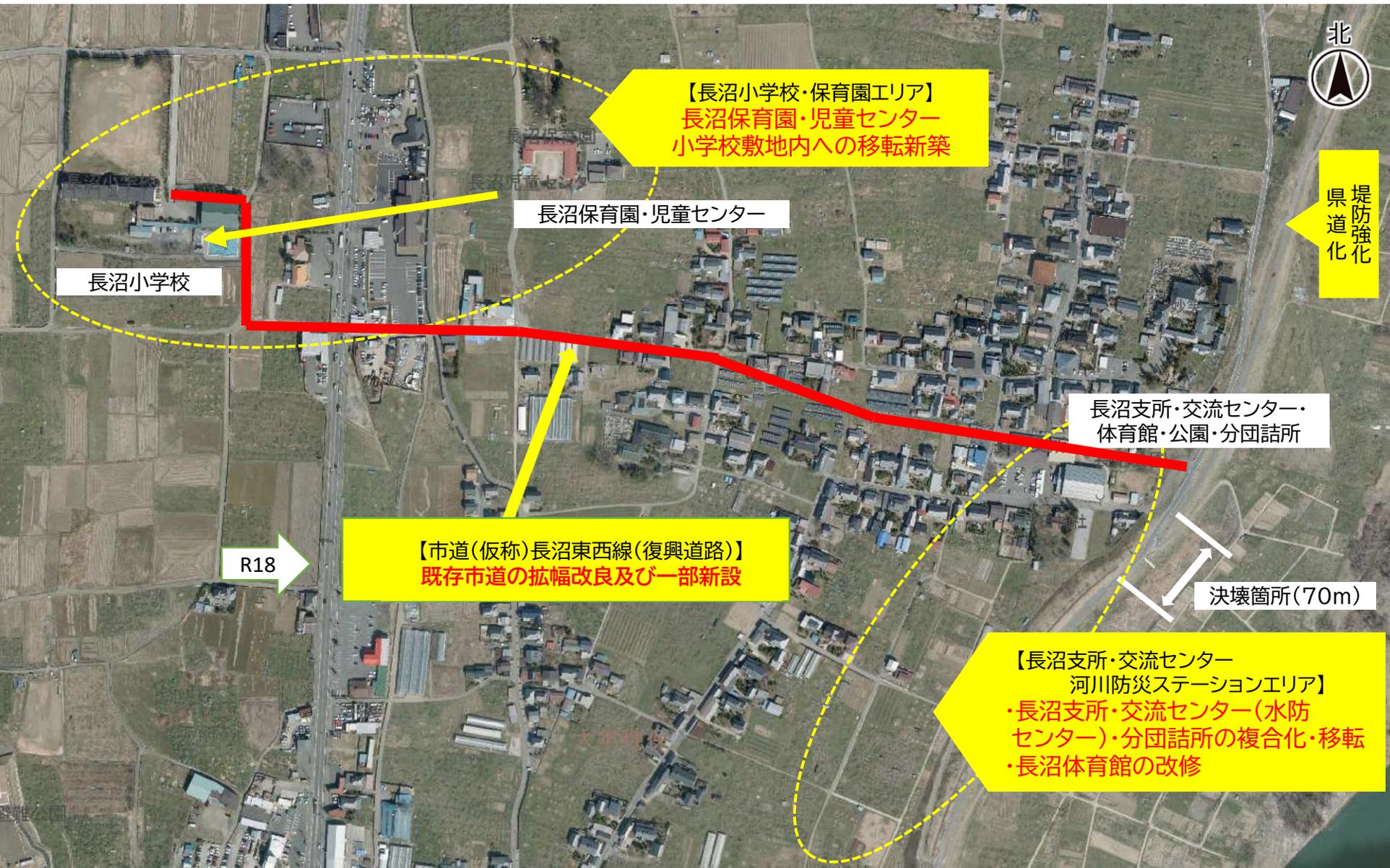
②避難所以外にも避難者がいることを前提に、つながる場としての役割を果たす

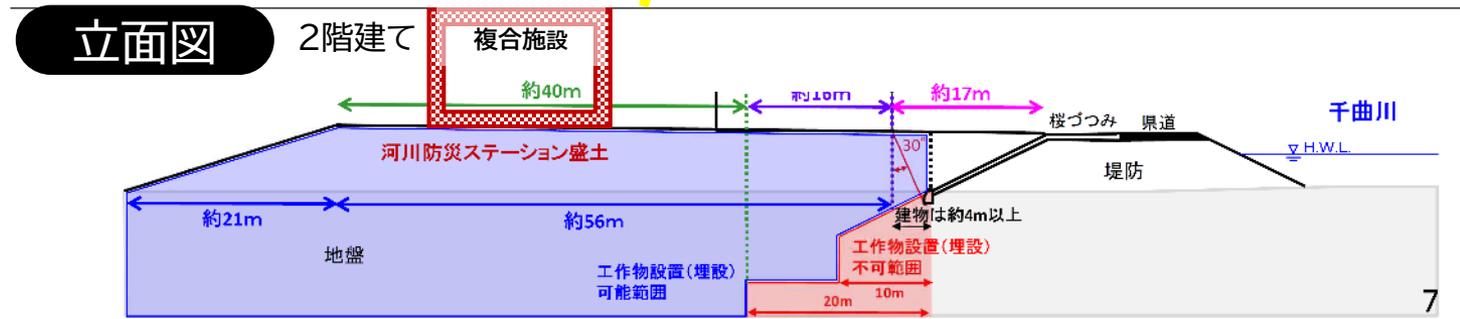
③避難所は、必要な支援を通して生活再建を支える場としての役割を果たす

- ◇避難者・市・施設管理者・ボランティア団体等が互いに協力し、「助け合い」や「協働の精神」に基づき、自主的な運営を目指す
- ◇災害対策本部に「避難所運営チーム」を設置し、各避難所には「避難所運営委員会」を設置



災害復興計画／1-2-2公的サービス等の復旧・機能回復、地区別計画（長沼）





長沼地区河川防災ステーションの整備イメージ図(拡大図・平常時利用状況)

- ① =土砂備蓄ヤードは多目的に利用可能な広場として整備し、平常時には開放。
- ②・③=アプローチとして法面にスロープ・階段を設置。
- ④ =複合施設(長沼支所)、災害対策車輛庫を整備。
- ⑤・⑥=復旧資材備蓄スペース。
天王宮は盛土上の現在位置に復元。



①土砂備蓄ヤードの利用状況(長沼城の土塁も表現)
子供の遊び場、キャンプ、バーベキュー など



②支所へのアクセス(歩道スロープ)
※バリアフリー対応



③広場へのアクセス
(長沼城跡正門の復元イメージ)



④複合施設(長沼支所)・災害対策車輛庫



⑤復旧資材備蓄スペース

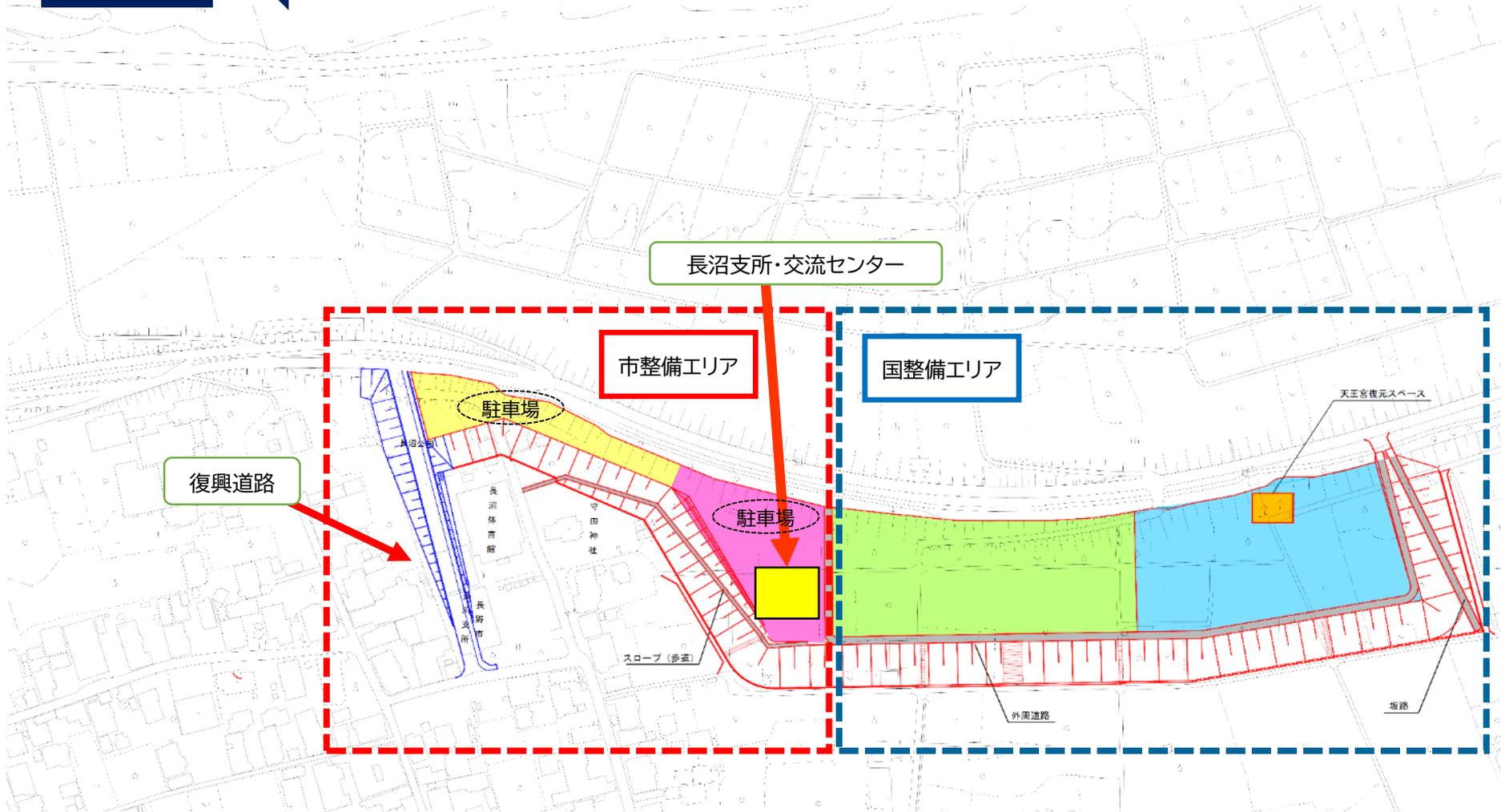


⑥天王宮の復元イメージ
※詳細は地元の皆様とご相談させて頂きながら進めます

千曲川



長沼地区河川防災ステーション平面図（案） S=1:1,000



- 下流盛土エリア
- 複合施設エリア
- 備蓄土砂エリア
- 備蓄資機材エリア (基本的に平常時利用は不可)

0m 50m 100m
S=1:1,000

※範囲等の詳細については今後変更となる可能性があります。
※盛土上では埋蔵文化財（長沼城）の遺構を表現する施策を行う可能性があります。

【R3.3.10】

地元ワークショップ(千曲川河川事務所・長野市共同で開催)※から複合施設の機能・レイアウト等について
提案書受領 → 提案書の内容に基づき複合施設の整備基本方針決定

※ワークショップ開催経過 (R2.12/20 R3.1/24 R3.2/27 計3回開催)

■整備基本方針

<施設全体>

- 長沼地区の復興のシンボル
- 長沼地区の防災・交流拠点

<建物>

- 外に開かれた建物で、内に柔軟性を持つ建物
- 近隣の幼児、小学生、中学生、学生、成人、高齢者みんなが集まる学習施設
- 防災・減災教育の拠点としての学習施設および展示保存施設
(災害アーカイブ、歴史展示、小学校の社会見学【防災教育】などを想定)

<外部エリア>

- 子育てしやすい長沼(開放的で多目的な活用ができる広場)
- 災害発生時の避難生活の拠点にもなる芝生広場
- 水害時の農機具・車両の退避場所(堤防上)



○ワークショップ開催経過

第1回目【R3.9.25】

市が考えるレイアウト案(4案)を提案⇒検討 屋外エリア等、今後検討が必要となる課題について共有

第2回目【R3.12.26】

ワークショップの意見を受けレイアウト案(2案)を提案⇒検討
屋外の具体的活用内容とその課題解決の仕方について

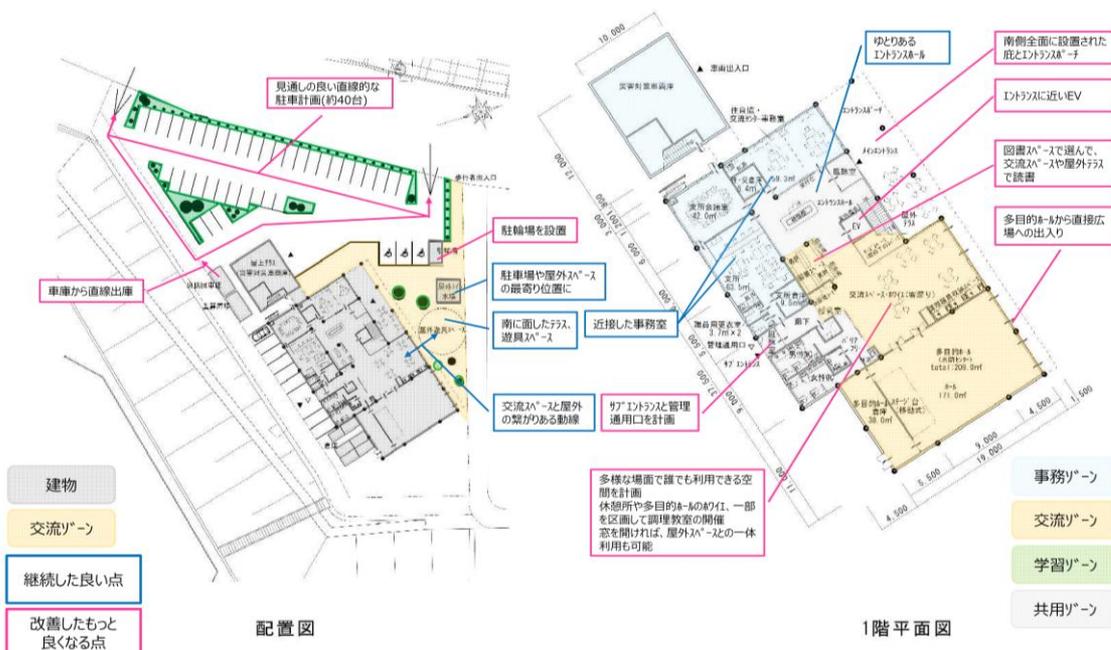
第3回目【R4.3.20】

ワークショップの意見を受けレイアウト案(1案)を提案⇒決定
複合施設の活用方法について(住民、外部、団体の視点で検討)

プラン

1階床面積：約750㎡
2階床面積：約330㎡

～溜まり場(交流スペースや屋外テラス)を施設を中心に配置し
皆さんの憩いの場～



ワークショップの様子

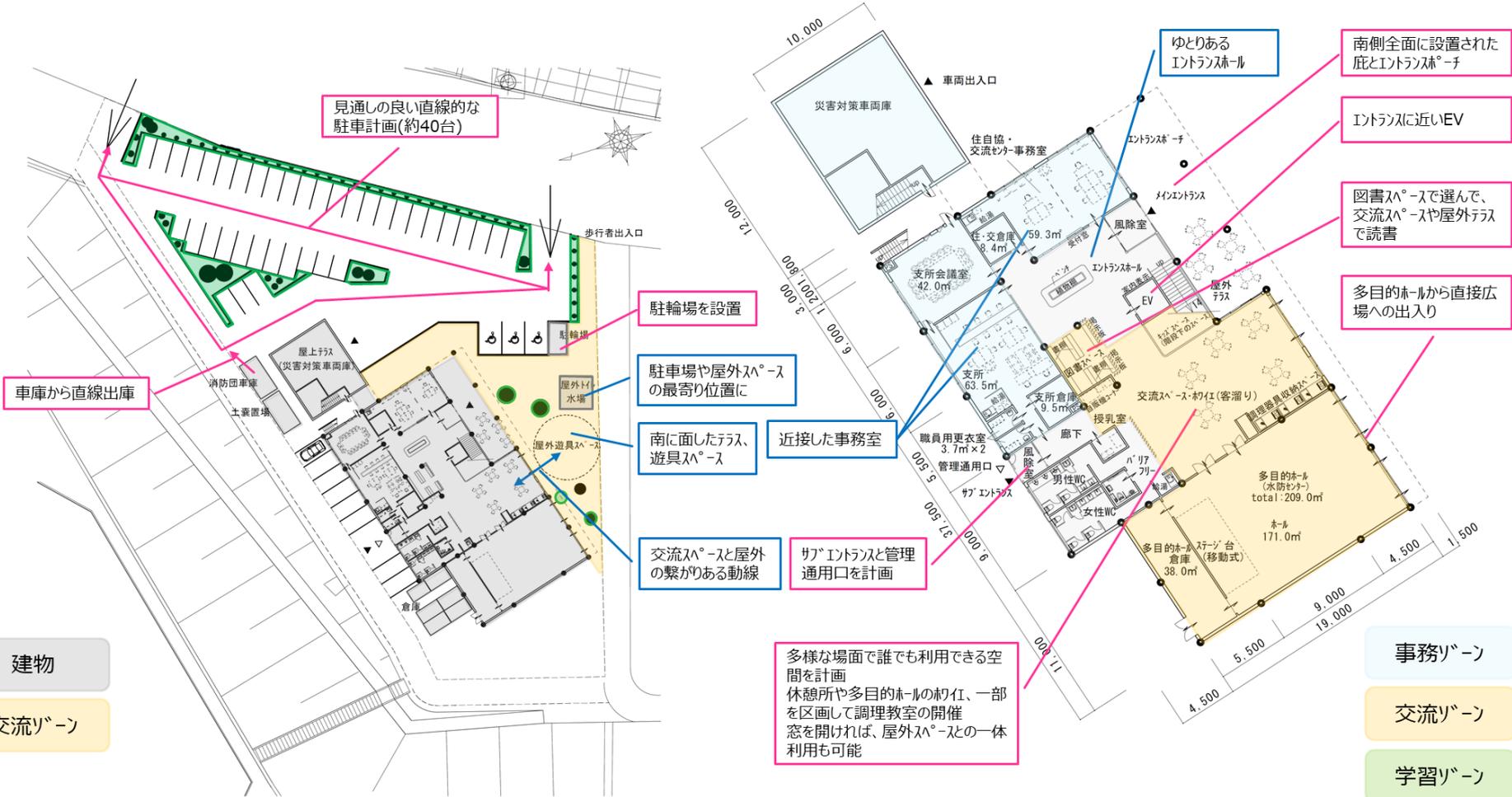


■ワークショップの今後の予定：R4年10月までに複合施設機能・運用方法、屋外エリア活用方法等検討→実施設計へ

プラン

1階床面積：約750㎡
2階床面積：約330㎡

～溜まり場(交流スペースや屋外テラス)を施設の中心に配置し
皆さんの憩いの場に～



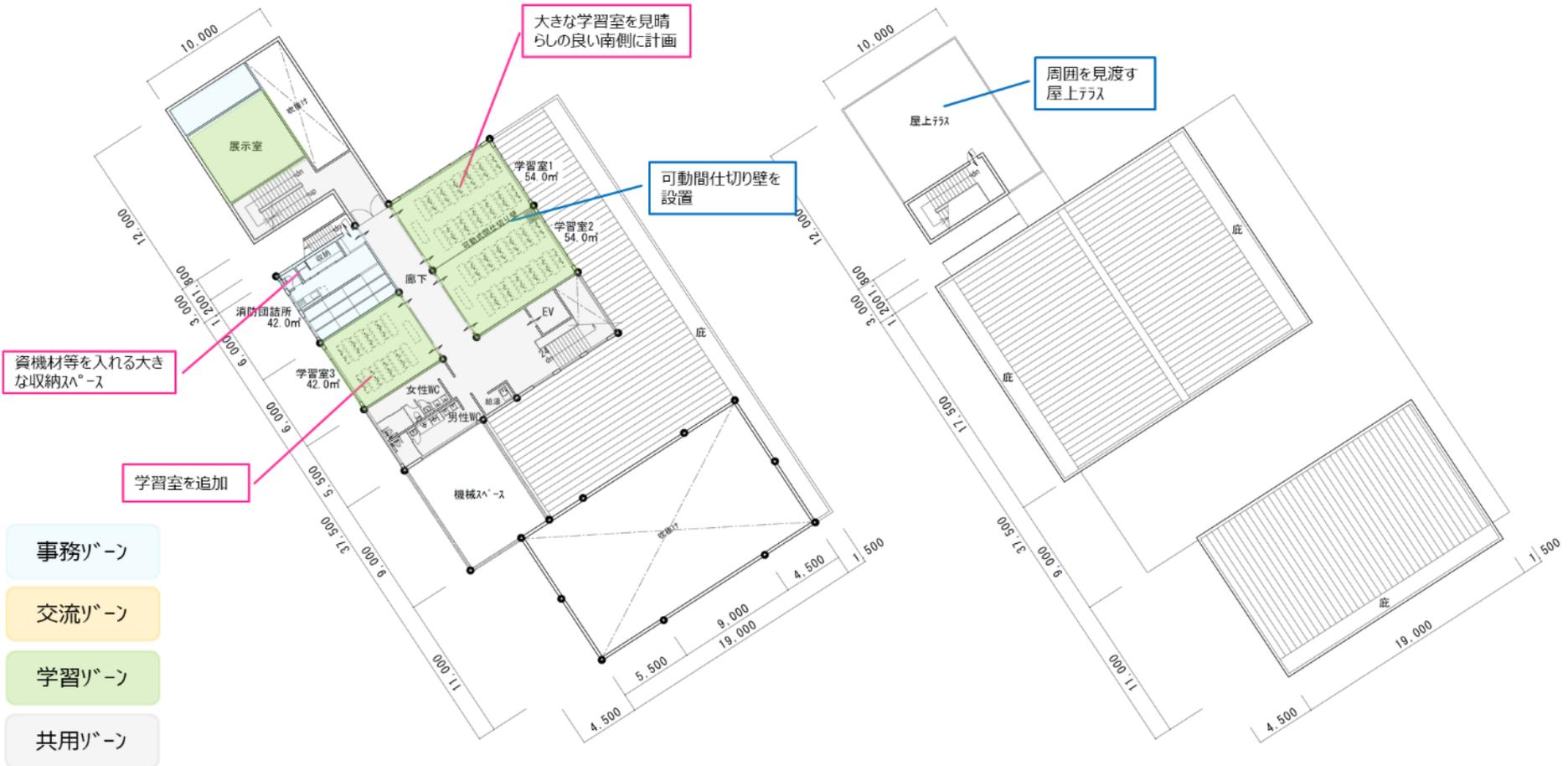
配置図

1階平面図

プラン

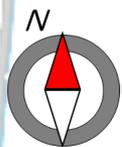
1階床面積：約750m²
2階床面積：約330m²

～溜まり場(交流スペースや屋外テラス)を施設の中心に配置し
皆さんの憩いの場～



2階平面図

3階平面図



長沼小学校
周辺道路整備

標準横断

(全幅) 9.75



延長：約0.7 km , 幅員：9.75 m

津野

国道18号

< 計画概要 >

計画ルート：国道18号津野交差点～河川防災ステーション(北側)

延長：約0.7 km

幅員：9.75 m (歩道:2.50m 南側)

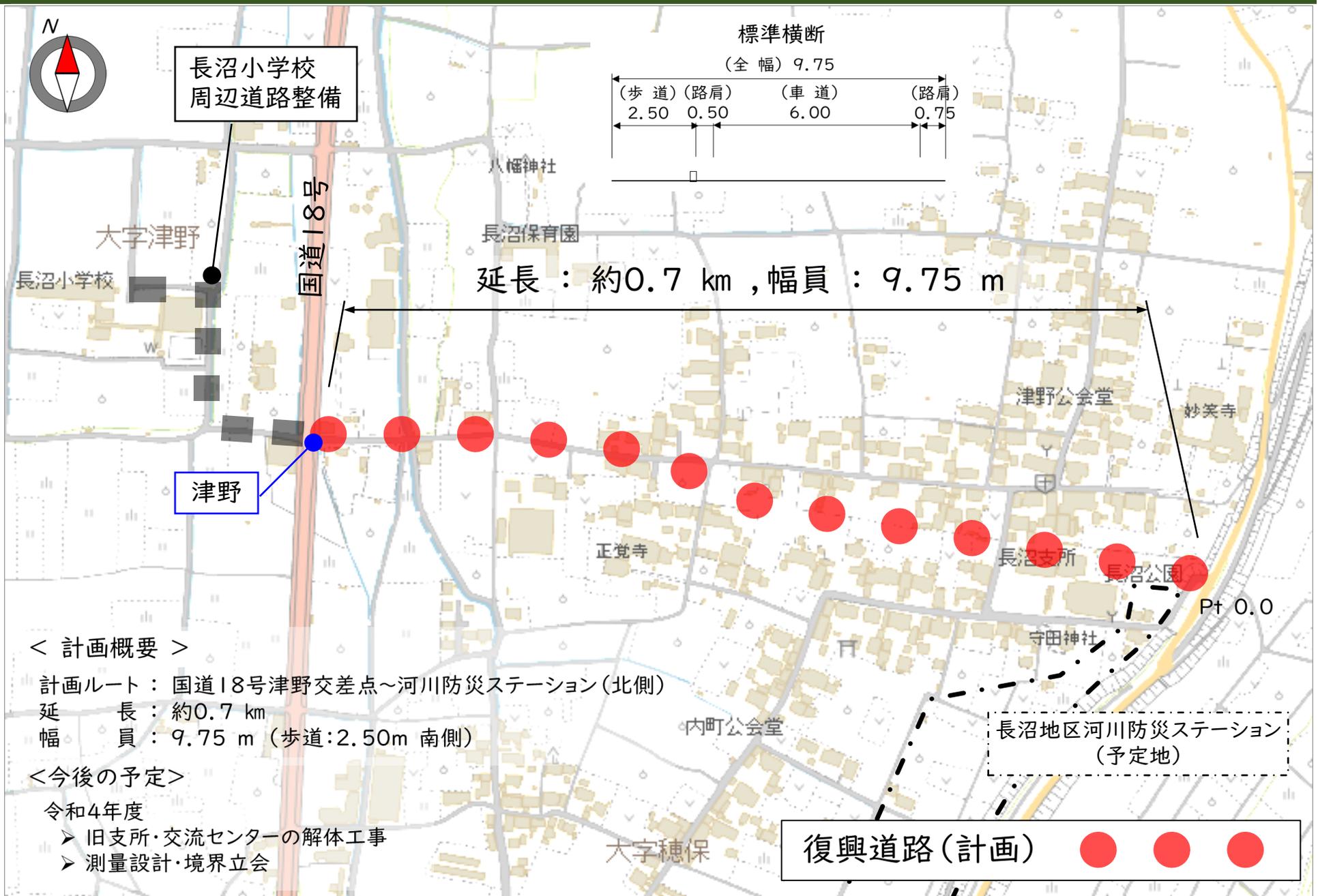
< 今後の予定 >

令和4年度

- 旧支所・交流センターの解体工事
- 測量設計・境界立会

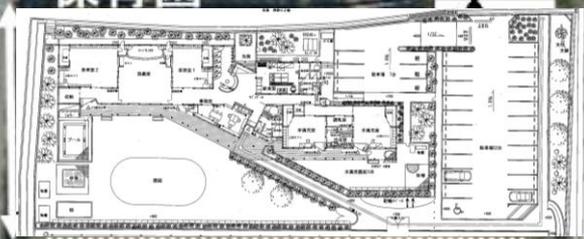
長沼地区河川防災ステーション
(予定地)

復興道路(計画)



保育園

約35m



防球ネット

保育園建設後のグラウンド面積
約6,000㎡

築山
撤去

- ▶ 保育園 令和5年4月供用開始予定
 - ・グラウンド北側約35m範囲に整備
 - ・従前同規模の保育面積を確保
 - ・保育園用駐車場を整備
 - ・グラウンド側には防球ネット設置
 - ・グラウンドの既存屋外遊具等の移設、築山撤去



- ▶ 児童センター 令和4年4月供用開始
 - ・約10m四方の居室を整備
 - ・休館時は学校や地域も利用可
 - ・児童の安全に配慮した設計

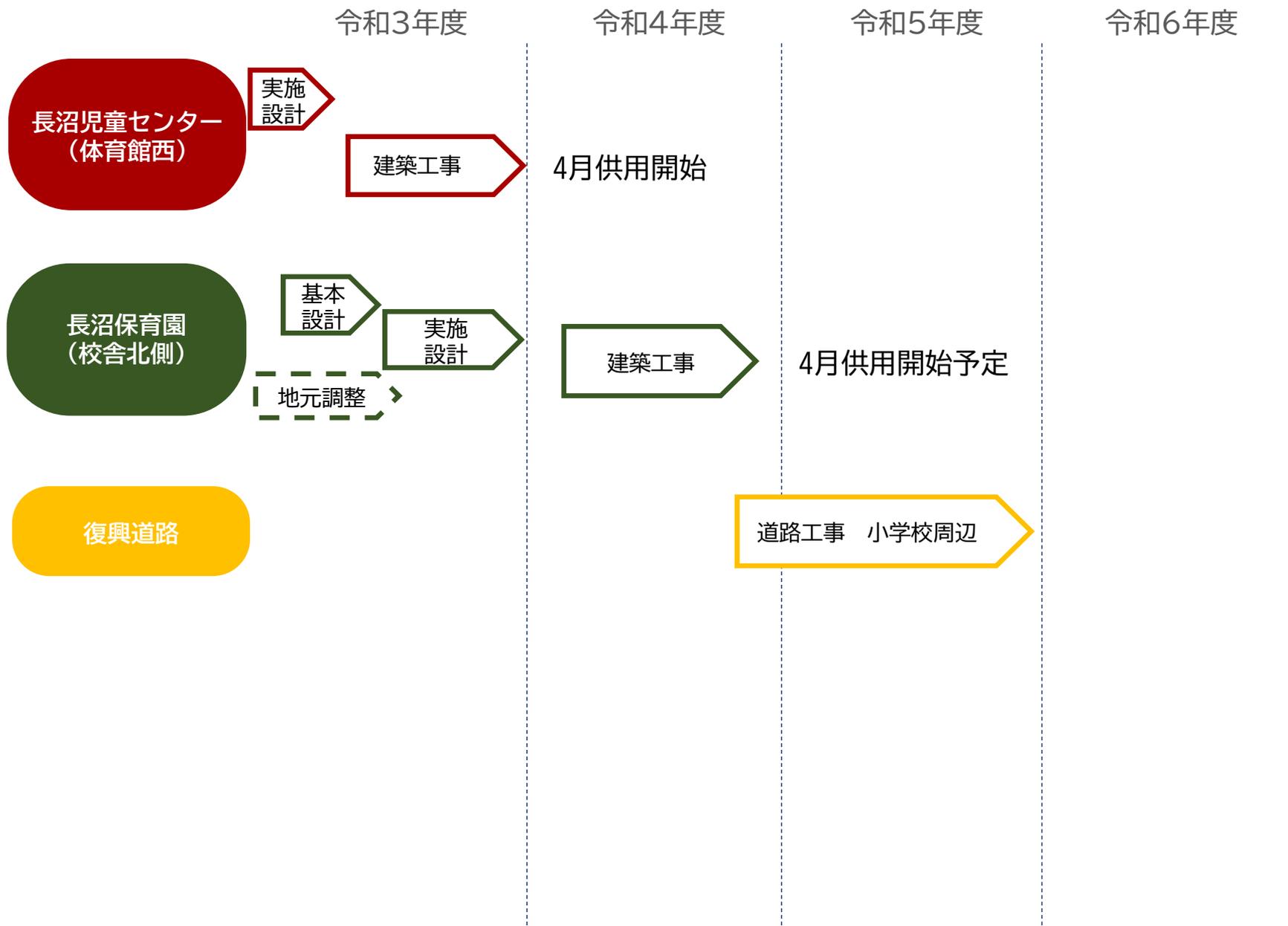
児童センター

プール

- ▶ 学校プール
 - プール・機械室は解体 令和4年度
 - 跡地を砂利敷による駐車場整備



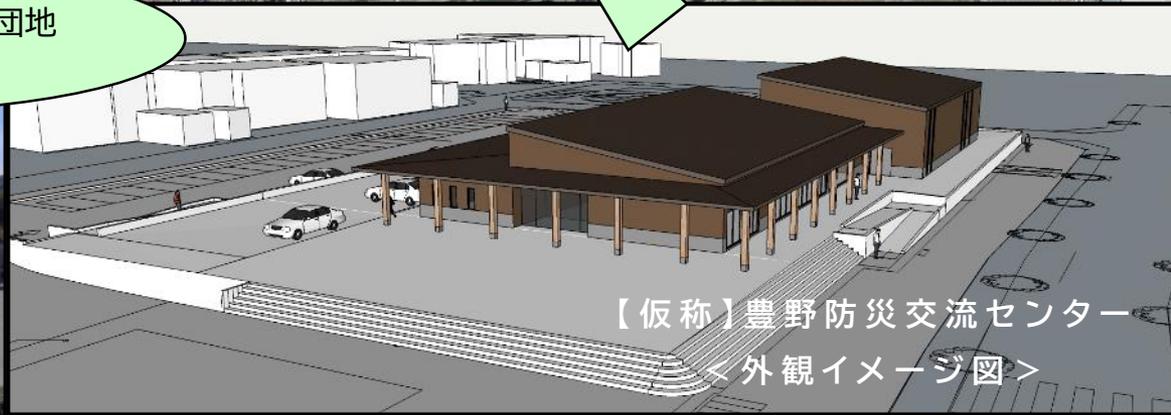


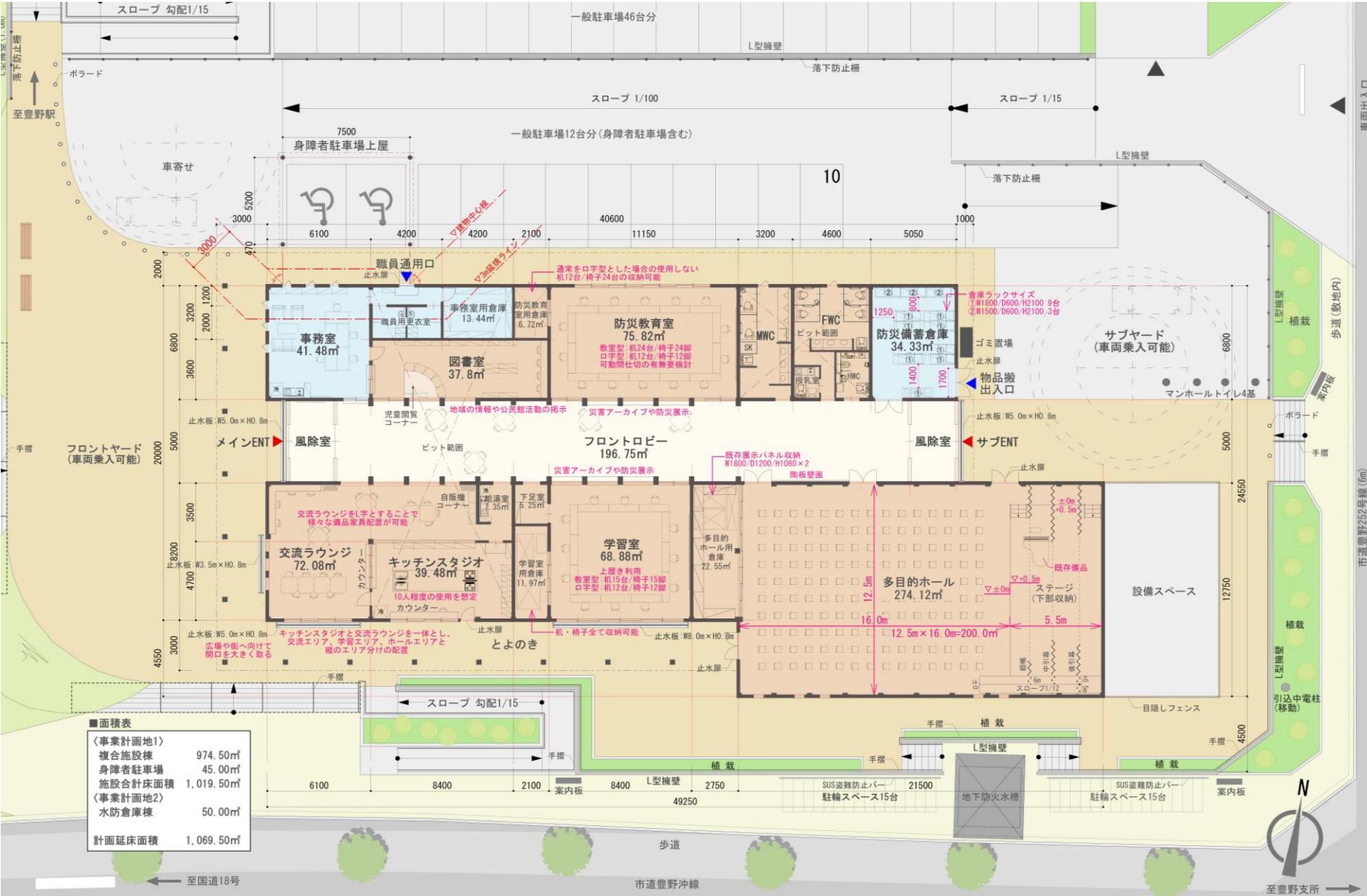


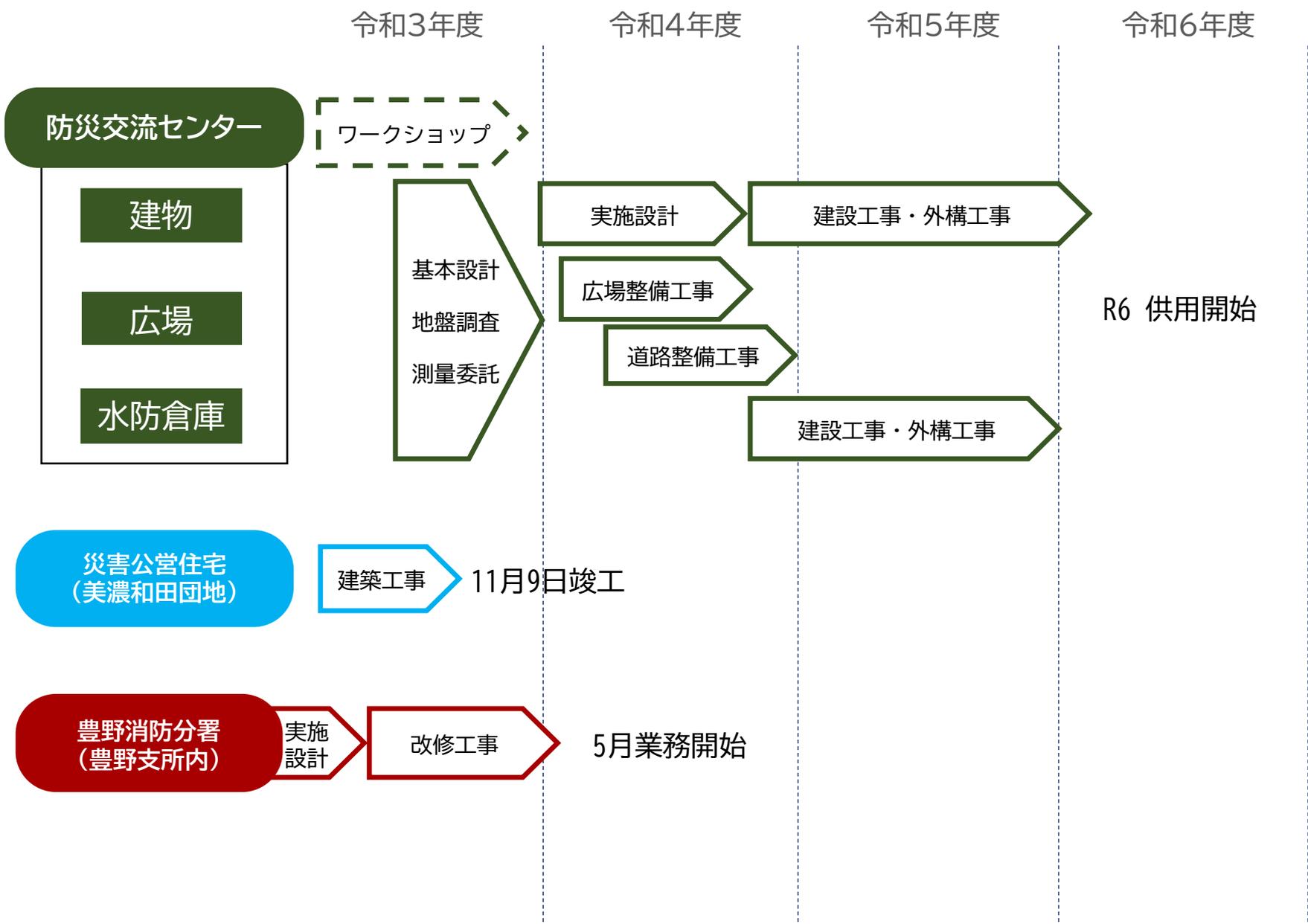
災害復興計画／1-2-2公的サービス等の復旧・機能回復、地区別計画（豊野）



災害公営住宅 美濃和田団地
R3.11.9 竣工







被災地域におけるコミュニティの維持・再生や、災害関連地域の復興及び活性化に向けた活動を支援するため、住民自治協議会に対し、「復興支援金」を交付

復興支援金の状況(令和3年度実績)

<単位:千円>

被災地区			建設型仮設住宅設置地区		
地区名	交付額	主な事業	地区名	交付額	主な事業
長沼	2,380	防災備品等整備、交流イベント等	第二	67	交流イベント
豊野	2,040	記録誌発行、備品購入、復興野菜等	古里	42	交流イベント
古里	200	防災物品購入、写真パネル展等	若槻	44	協働美化事業
篠ノ井	640	駅周辺改修整備事業	支援金交付実績 5,793千円		
松代	270	一斉情報配信システム導入			
若穂	110	記録集改定増刷、防災用品整備			

<令和2年度実績>

復興支援金 11,281千円

地域公民館災害復旧支援金(17館)

35,356千円

目的

令和元年東日本台風で被災し、被害の大きかった地区の復興(心の復興)を支援する

チームメンバー

企画政策部
企画課

財政部
市民税課

地域・市民生活部
地域活動支援課

商工観光部
商工労働課

文化スポーツ振興部
スポーツ課

農林部
農業政策課

建設部
建築指導課

都市整備部
都市政策課

教委 家庭・
地域学びの課

支所

復興推進
特別対策室

・部局横断的に検討
・必要に応じて部局
を追加

支援いただく団体等

ふるさと財団、都市・まちづくり課(県)、NPO日本都市計画家協会など

地区の検討体制

次世代へつなげることを基本として

- まちづくり検討組織の立ち上げ
- 主体は住民自治協議会
- 幅広い年代、性別、地域から募集

	長沼地区	豊野地区
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ビジョンに基づくまちづくり計画の策定 ➤ 課題、要望に対する支援策の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ (仮称)防災交流センターを中心とした人の交流、にぎわいの創出 ➤ 豊野地区にある計画等の活用、アップデート
<div style="border: 1px solid green; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">住民のみなさんと一緒に考える</div>		
今後の予定	ホームタウンながぬまのアップデートをしながらまちづくりの計画の策定と具体的なプロジェクト化を目標にする	まちづくりの勉強会と話し合い <目標> まちづくりの計画の策定と具体的なプロジェクト化

年月日	内容	協議事項等
R3.11.11	長沼(豊野)地区復興検討チーム立ち上げ(第1回)	目的・現状等説明 メンバー13名、事務局6名
R3.12.11	災害復興の理論と実践について 勉強会(第2回)	講師:高鍋剛 (株)都市環境研究所 取締役
R3.12.18	市長被災地(長沼・豊野地区)訪問・意見交換	長沼地区代表者8人、豊野地区代表者14人
R4. 1.31	長沼・豊野地区現地踏査(第3回)	被災地の状況確認、豊野地区役員との意見交換会
R4.3.24	被災地への復興支援策について(第4回)	被災地の状況等について情報共有 新年度の予定について
R4年度	被災地への復興支援策の検討・住民との意見交換 (第5回 4/25実施 以降月1回程度開催予定)	まち【地域】づくり計画の策定、地域の賑わい創出※ 実現可能なプロジェクト推進

※具体的な検討内容

<長沼地区>

・まちづくり計画の策定(詳細は今後検討)

防災ステーションエリア・復興道路・学校エリア(市街化調整区域)を中心とした地域活性化策等の検討
地域産業の活用、空き地・空き家・耕作放棄地問題の解消

<豊野地区>

・地域の賑わい創出

【仮称】豊野防災交流センターを中心とした活力あるまちへ(防災+交流拠点)
豊野いいところマップ・防災マップのアップデート

今後の復興を祈念するとともに、被災地の復旧・復興状況を発信し、地域経済の活性化に寄与するため、被災地等を紹介したパンフレット配布(千曲川沿いの隣接3市町含む)、被災地や地域に関する謎解きラリー開催、復幸BOX販売などを実施する。

期間

令和3年10月1日(金)～令和4年1月31日(月)

運営組織

いまこそ応援「がんばろうNAGANO」2020
実行委員会



主な事業

①

被災地の今を刻む パンフレット・スマートフォンサイトでの地域紹介

連携：岡学園トータルデザインアカデミー

◆パンフレット冊子1万冊配布

10月から長野市及び隣接3市町
観光案内施設、スマホサイトポイント
、高速道路SA・PA、銀座NAGANO
等で配布

◆謎解きデジタルスタンプラリー

サイト稼働11月3日～28日
スマートフォンサイト閲覧件数
1,176件

イメージ



場所を当てる
謎解き

現地に行く

正解チェック

GPS機能で
正解の判定



主な事業

②

被災地物産展 復幸(ふっこう)BOXの販売

被災地企業の商品や市内の物産などを「復幸BOX」に詰め込み、被災地を中心とした店舗及びインターネットで販売し、被災地を支援。観光パンフレット、ノベルティ、宿泊券(抽選)などのプレゼントも用意し、各地域の魅力を体感し、実際に周遊していただく。

◆11月3日から市内外3店舗のほか、販売専用サイトで販売

600箱完売



主な事業

③

被災地の素材を紹介 地域の素材を使った商品・メニューの開発

学生と連携し、被災地域のりんごを素材に使用した商品を開発・販売。被災地域の素材をPRする。

- ・りんごのささやき<株式会社タカチホ>
- ・焼肉のたれ<炭火焼肉ジンギスカン もんも、酢屋亀本店>

◆いずれも11月3日から復幸BOXに詰め合わせるなどして販売

連携：岡学園トータルデザインアカデミー



お菓子、焼肉のたれ完売



連携：清泉女学院大学

連携事業

復興NAGANO！音楽祭 音楽イベントへの被災者招待

音楽の力で元気と明日への活力を感じていただけるよう、長野市芸術館主催の音楽イベントに協力し、被災者の皆様を招待。また、災害を伝えるパネル展示や映像紹介などにも協力し、イベントを通して被災地の復興を祈念した。

◆11月21日 長野市芸術館メインホール 100組198名招待



県内経済復興祈念花火 復興花火の打上げ

新型コロナウイルス感染症の終息や県内経済と県民マインドの回復、被災地の復旧・復興を祈念する「県内経済復興祈念花火事業」に対して実行委員会として後援することで、被災地とともに今後の復興を祈念した。

◆11月3日 市内5カ所で打上げ



長野市観光PRと復興支援 被災地産りんごの販売

NCVBと協力し、長野市の観光PRイベントの開催に協力してイベント会場において長沼地区のりんご販売とパンフレット冊子の配布を行うことで、被災地の生産者を支援するとともに、被災地の復旧・復興状況を発信した。

◆11月26日～12月5日 埼玉県内JTB2店舗 りんご約2,000個販売



7-1 生活再建支援・見守り支援等 ①

災害により居住用住宅が全壊するなど、生活基盤に著しい被害を受けた世帯に対して支援金を支給

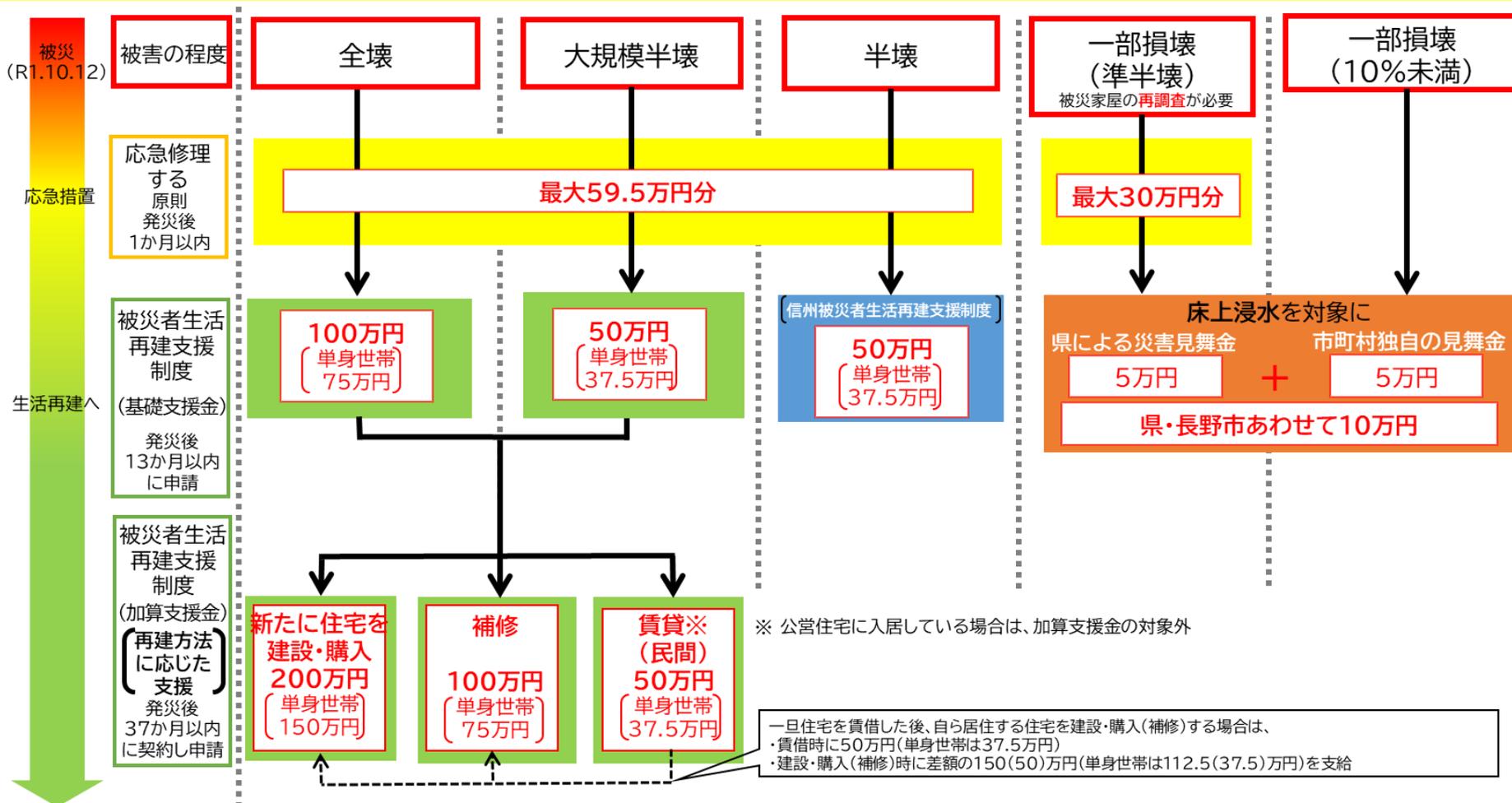
【支給件数】 ※いずれも令和4年3月31日現在

被災者生活再建支援制度<全壊・大規模半壊対象> 2,798件(加算支援金1,278件を含む)

信州被災者生活再建支援制度<半壊対象> 1,295件

長野県・長野市災害見舞金<半壊未満の床上浸水> 364件

※被災者生活再建支援制度(基礎支援金)の申請期間については、令和3年11月11日で終了



市被災者見守り支援担当職員、「長野市生活支援・地域ささえあいセンター」、関係機関等が連携して被災者支援を実施

【支援件数】 延べ11,665件(令和元年12月～令和4年3月)

基礎情報 (R4.3月末)		支援類型別支援件数 (延べ: R1.12月～R4.3月)				
支援対象	対象世帯数	訪問件数	電話	来所	その他	計
建設型仮設	5	2,493	165	9	450	3,117
みなし仮設	40	4,324	823	20	731	5,898
公営住宅等	59	1,650	203	16	353	2,222
在宅	74	255	33	10	130	428
計	178	8,722	1,224	55	1,664	11,665



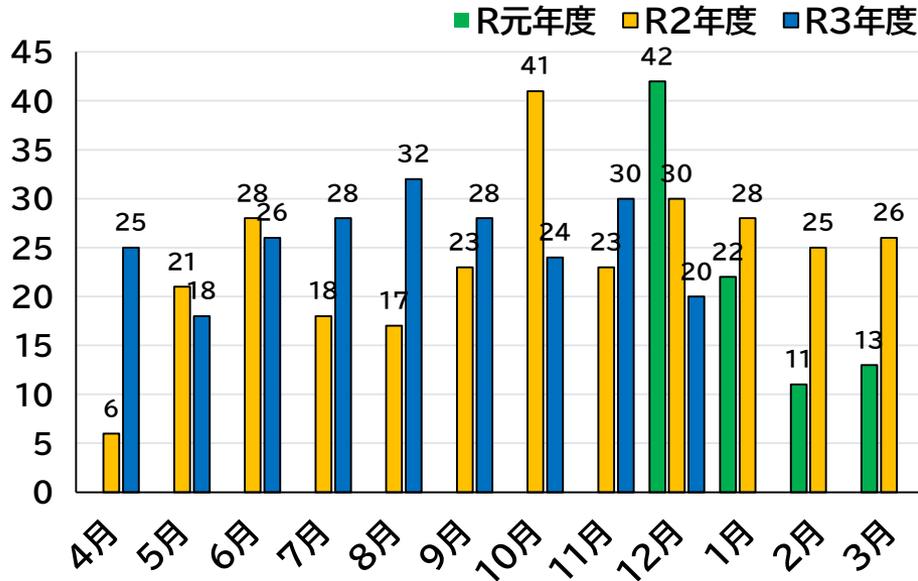
基礎情報	相談内容								
支援対象	居住関係 (再建)	健康・ 医療関係	家族関係	就労関係	居住関係 (仮設)	介護・ 福祉関係	経済面	その他	計
建設型仮設	597	551	253	80	94	86	28	1,426	3,115
みなし仮設	2,333	997	759	237	162	161	91	2,419	7,159
公営住宅等	530	313	201	57	77	112	15	936	2,241
在宅	114	48	57	15	11	29	3	131	408
計	3,574	1,909	1,270	389	344	388	137	4,912	12,923

(令和4.3.31現在)

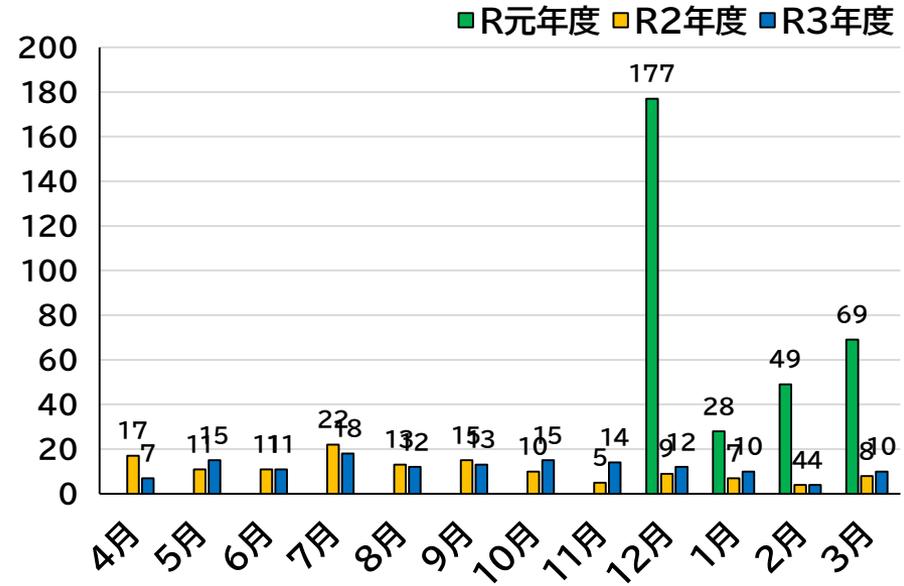
1 保健師による相談

(1) 専任保健師相談のべ件数(建設型仮設住宅入居者)

* 令和3年12月で建設型仮設住宅は閉鎖



(2) 地区保健師相談のべ件数(被災者全体)



《相談方法別件数》

(件)

	訪問	面接	合計
令和元年度(12月～3月)	88	0	88
令和2年度(4月～3月)	219	67	286
令和3年度(4月～12月)	155	76	231

《相談方法別件数》

(件)

	訪問	面接	電話	合計
令和元年度(12月～3月)	207	16	100	323
令和2年度(4月～3月)	88	17	27	132
令和3年度(4月～12月)	84	26	31	141

2 地域ささえあいセンター主催のサロンでの保健師による健康相談・健康講話

	回数	内容
令和2年度	29回	・血圧測定 ・講話 ・熱中症予防 ・新型コロナ感染対策 ・生活習慣病予防 ・フレイル予防 など
令和3年度	14回	



3 専門職(精神科医師・弁護士・保健師等)による総合相談会の開催

	回数	相談者	会場
令和元年度	2回	15組	犀南保健センター、東部保健センター
令和2年度	3回	9組	犀南保健センター、豊野保健センター、長野市保健所
令和3年度	1回	2組	若里市民文化ホール

《参考》

長野市の自殺者数の推移

	総数	男	女
H29	57	41	16
H30	65	43	22
R元	60	45	15
R2	57	36	21
R3	52	33	19

(厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」(自殺日・居住地)より)

4 こころのホッと相談の開催

	回数	相談者	会場
令和3年度	3回	2組	東部保健センター2回、犀南保健センター

- 発災直後から家庭から出た災害廃棄物の受入を完了
【搬入台数】 90,615台 うち公費解体分 24,812台
- アクアパル千曲及び豊野東山運動場の2施設について、復旧を完了

各災害廃棄物仮置場の受入状況

・ アクアパル千曲	合計搬入台数	30,927台
・ 豊野東山第1・第2運動場	合計搬入台数	22,109台
・ 穂保高台避難公園南	合計搬入台数	3,785台
・ 赤沼公園	合計搬入台数	15,578台
・ 篠ノ井運動場	合計搬入台数	10,325台
・ 青垣公園運動場	合計搬入台数	7,891台



< 篠ノ井運動場(災害廃棄物搬入ピーク時) >

公費解体

○市が所有者に代わって家屋等の解体・撤去を実施

申請件数:557件／解体棟数1,024棟

申請受付期間：令和2年1月10日～令和3年5月28日

自費解体

○所有者が既に実施した家屋等の解体・撤去工事について、要した費用の全部または一部を市が償還

申請件数:259件／償還件数259件(最終:令和3年1月21日)

申請受付期間：令和2年1月10日～令和2年9月30日

※契約期限は令和2年6月30日まで

農地の堆積土砂撤去、農道・用水路の復旧

農地の復旧(堆積土砂の撤去100%完了)

・被災農地の土砂撤去・表土復旧 面積:約344ha 申請件数:1,365件 搬出土砂:約20万³m

農道・用水施設の復旧

・農道 土砂撤去(令和2年2月完了済):325路線、延長約100km

損壊:71箇所(令和3年7月完了済)

・用水施設(水路、取水施設等) 損壊:75箇所(令和2年4月概ね完了)

残り1箇所(令和4年5月31日完了予定※)

※長野県発注の保科川災害復旧工事との工程調整による

(残りの用水施設状況)



<被災直後>



<用水仮設状況>

下流の受益地へ農業用水を供給するため、暗渠パイプの設置により応急的な通水確保を実施



営農再開・継続に向けた支援**●被災農地の賃借マッチング【長沼、豊野、篠ノ井、松代、若穂 等】**

被災農地(堤内)の所有者に今後の営農意向アンケートを行い、その結果を踏まえて長野市農業公社、農業委員等が連携してマッチングを進めている。

(令和4年4月15日現在の取組状況)

貸出希望	34ha (被災農地738haのうち4.6%)
借受成立	26ha(マッチング進捗76.5%)

1 1-1 河川の復旧状況【総括】

令和4年3月31日現在

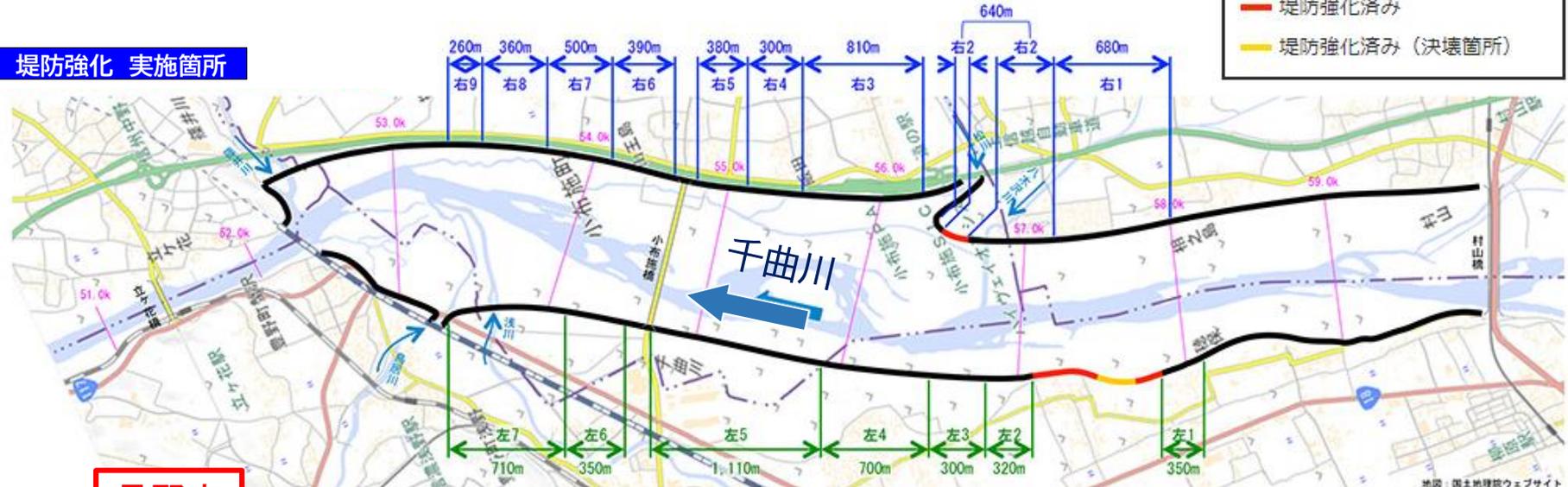
管理者	河川名	地区	箇所数	進捗状況 (R4.3.31)	備考	
国	千曲川	長沼穂保(復旧)	1	完了	決壊箇所の復旧延長140m	
		長沼穂保(強化)	1	完了	上記箇所の上下流 420m	
		立ヶ花～村山橋(強化)			別紙進捗状況	立ヶ花～村山橋間のうち堤防強化実施済区間を除く区間の堤防強化工事
		篠ノ井塩崎(復旧)	1	完了	軻良根古神社付近	
		篠ノ井塩崎(強化)	1	71.5%	R4.1月から川裏側堤防のり面のコンクリート被覆工事に着手	
県	浅川	豊野	4	完了	別工事で河道内の土砂撤去を実施中	
	三念沢	豊野	1	完了		
	赤野田川	若穂	3	完了		
	保科川	若穂	4	完了		
	蛭川	松代	1	完了		
	神田川	松代	1	完了		
	藤沢川	松代	1	完了		
	岡田川	篠ノ井	1	完了		
	聖川	信更	3	完了		
	犀川	信更	1	完了		
市	高岡川	若穂	1	完了		
	唐沢川	若穂	1	完了		
	銅山川	松代	1	完了		

凡例

- 堤防強化箇所
- 堤防強化済み
- 堤防強化済み（決壊箇所）

○立ヶ花狭窄部によるせき上げ影響区間となる「立ヶ花～村山橋」の有堤区間について、堤防強化対策を実施中

堤防強化 実施箇所



長野市

左岸側の工事 2

記号	工事名	工事の状況	施工箇所
左4	赤沼地区堤防強化工事	工事中	川表
左5	飯田地区（左岸）堤防強化工事	工事中	川表
左6	吉島地区堤防強化その1工事	工事中	川表
左7	吉島地区堤防強化その2工事	工事中	川表

左岸側の工事 1

記号	工事名	工事の状況	施工箇所
左1	千曲川穂保地区堤防強化工事	工事中	川表・川裏
左2	千曲川津野地区堤防強化工事	工事中	川表・川裏
左3	千曲川赤沼地区堤防強化工事	工事中	川表・川裏

<左1>千曲川穂保地区堤防強化工事

【受注者】 株式会社 加賀田組
【場所】 長野県長野市穂保地先
【工期】 令和3年7月1日
 ～令和4年9月20日

21.1
%

現在の進捗率
※令和4年3月31日(時点)

現在の進捗(令和4年3月末時点)

- 川表側堤防のり面の掘削が完了しております。
- 川表側の法覆護岸工を下流側から順次施工しています。(護岸基礎工⇒隔壁⇒遮水シート張⇒裏込砕石⇒大型ブロック張)
- 川裏側のり面の表土を掘削しています。
- 川裏側の道路付属物等を撤去しております。



現地施工状況①



現地施工状況②

<左2>千曲川津野地区堤防強化工事

【受注者】 株式会社 浅沼組
【場所】 長野県長野市津野地先
【工期】 令和3年7月1日
 ～令和4年7月29日

32.1
%

現在の進捗率
※令和4年3月31日(時点)

現在の進捗(令和4年3月末時点)

- 川表側法面の大型ブロックの施工が約90%完了しました。大型ブロック施工完了後、ブロックに覆土を行います。
- 川裏側は、基礎工事が約50%完了しました。引き続き掘削工事と基礎工事を継続して行います。法面の施工が完了次第、ブロック張りを開始します。



現地施工状況①



現地施工状況②

<左3>千曲川赤沼地区堤防強化工事

【受注者】 株式会社 植木組
【場所】 長野県長野市赤沼地先
【工期】 令和3年7月1日
 ～令和4年8月31日

39.2
%

現在の進捗率
※令和4年3月31日(時点)

現在の進捗(令和4年3月末時点)

- 川表側大型ブロック張を300m施工しております。川表側の大型ブロック張については、ブロック張が完了次第に坂路の造成や覆土などの施工を行っています。
- 川裏側については、基礎を300m設置致しました。引き続き、2次掘削を行って行きます。



現地施工状況①



現地施工状況②

<左4>赤沼地区堤防強化工事

【受注者】 中信建設株式会社
【場所】 長野県長野市赤沼地先
【工期】 令和3年7月1日
 ～令和4年8月26日

49.3
%

現在の進捗率
※令和4年3月31日(時点)

現在の進捗(令和4年3月末時点)

- 高水敷への坂路を除く大型連節ブロックの据付がほぼ完了しました。
- 現在、工事区間上流部の大型谷積みブロックの施工に着手しています。



現地施工状況①



現地施工状況②

<左1>千曲川穂保地区堤防強化工事

令和4年4月撮影



<左2>千曲川津野地区堤防強化工事

令和4年4月撮影



<左3>千曲川赤沼地区堤防強化工事 令和4年4月撮影

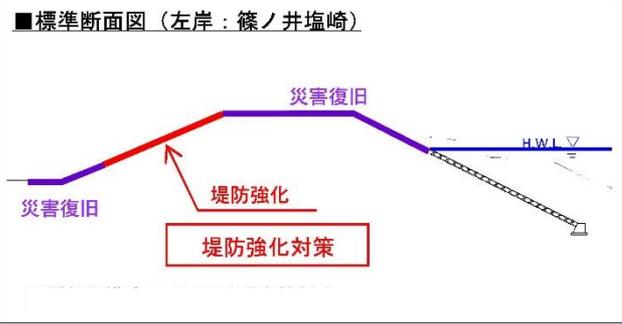


<左4>赤沼地区堤防強化工事 令和4年4月撮影



○令和4年1月から川裏側(宅地側)の堤防強化(のり面のコンクリート被覆工事)に着手、現在工事中。

資料提供:千曲川河川事務所

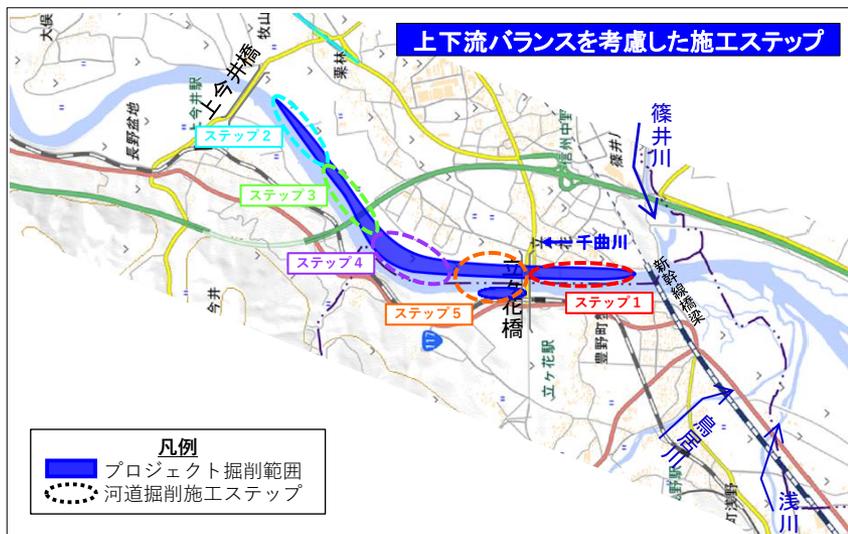


堤防欠損:690m



○信濃川水系緊急治水対策プロジェクトでは、令和9年度まで河道掘削(立ヶ花狭窄部)を実施する予定

資料提供:千曲川河川事務所



- ・立ヶ花橋上流の「ステップ1」箇所の河道掘削完了。
- ・全体の掘削量から本市としても千曲川河川事務所と調整を行い土砂受入体制の強化が必要。



- 令和元年東日本台風に対する治水対策として、直轄管理区間において、5箇所の遊水地整備を予定。
- 令和6年度(若しくは令和9年度)までの遊水地事業完成を目指す。



- ・ 塩崎遊水地については、令和3年度に計画地内の地権者へ用地・物件の補償等に関する意向調査を実施。
- ・ 意向調査結果について、令和4年5月15日に地権者へ説明会を開催。

- ・青線の区間約8,290mで堆積土砂の撤去完了
- ・赤線の区間約2,750mを6月末完了予定で土砂撤去実施中 全体延長で約11km

浅川



土砂撤去作業の状況(R3.8月)



・被災した県管理河川において、適切な河道維持のための堆積土砂の撤去を実施中

岡田川

実施済(実施中)延長
314m
R4予定延長 130m



土砂撤去作業前の状況 R2.6

聖川

実施済延長 1,556m
R4予定延長 200m



土砂撤去作業の状況 R4.1.28

蛭川

実施済延長 1,054m
R4予定延長 300m



土砂撤去作業の状況 R4.1.28



土砂撤去作業実施中 R3.9



土砂撤去作業完了 R4.4.25



土砂撤去作業完了 R4.4.25

・被災した県管理河川において、適切な河道維持のための堆積土砂の撤去を実施中

神田川

実施済延長 957m



土砂撤去作業の状況 R4.1.28

保科川

実施済延長 1,757m

R4予定延長 500m



土砂撤去作業の状況 R4.1.28

赤野田川

実施済延長 1,368m



土砂撤去作業の状況 R4.1.28



土砂撤去作業完了 R4.4.25



土砂撤去作業完了 R4.4.25



土砂撤去作業完了 R4.4.25

【総括】

令和4年3月31日現在

管理者	施設名	所在地	ポンプ能力	進捗状況(%) (R4.1.31)	進捗状況(%) (R4.3.31)	ポンプ能力 復旧率	備考
長野平 土地改良区 (市へ管理委託)	浅川第一排水機場	小布施町	14.0 m ³ /s	90%	100%	100%	R4.4月本稼働
	浅川第二排水機場	小布施町	30.0 m ³ /s	100%	100%	100%	本稼働
	長沼排水機場	長沼	16.5 m ³ /s	100%	100%	100%	本稼働
市	大道橋排水機場	豊野	0.2 m ³ /s	100%	100%	100%	本稼働
	赤沼雨水ポンプ場	長沼	1.8 m ³ /s	100%	100%	100%	本稼働
	三念沢雨水ポンプ場	豊野	1.36 m ³ /s	100%	100%	100%	本稼働
	沖雨水ポンプ場	豊野	3.66 m ³ /s	100%	100%	100%	本稼働
	小森第一排水機場	篠ノ井	17.0 m ³ /s	100%	100%	100%	本稼働

浅川第一排水機場

※ポンプ能力復旧率：仮設備による復旧を含めた従前のポンプ能力に対する復旧率



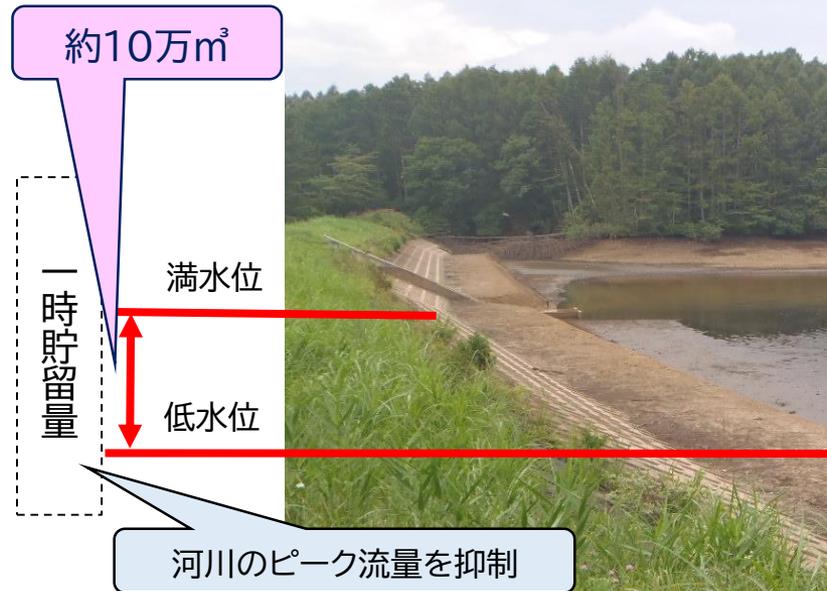
・令和4年3月末、浅川第一排水機場の災害復旧工事が完成した。早期完成が必要な重要施設であるため、第二排水機場南側敷地を活用し、建設実績がある県・長野地域振興局の協力の下、遅滞なく完成することが出来た。

【低水管理の効果】

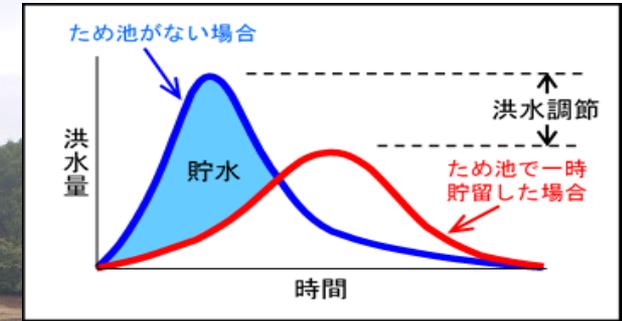
ため池の貯水位を下げ、空き容量を確保することにより、降雨時の流入を一時的に貯留させ、河川への流出量を抑制

上蓑ヶ谷池（総貯留量19万9000 m^3 ）

低水位管理中の様子



ため池の洪水調節イメージ



実施状況と今後の予定

- ・令和3年度（低水位管理業務委託の締結） ⇒ ため池16箇所、合計約46万 m^3 の貯水量を確保
⇒ 実績報告では10箇所、合計約42.5万 m^3 の低水位管理を実施
- ・令和4年度～ ⇒ 流域治水として引続きため池管理者の協力のもと低水位管理を継続

現在の入居状況（令和4年4月30日時点）

[建設型仮設住宅]

団地名	募集戸数	入居受付戸数	退去戸数	現在入居戸数
上松東	32戸	29戸	27戸	2戸
若槻団地運動広場	23戸	19戸	19戸	0戸
昭和の森公園	45戸	32戸	32戸	0戸
駒沢新町第2	15戸	15戸	15戸	0戸
合計	115戸	95戸	93戸	2戸

※建設型仮設住宅(上松東団地)の使用期間:令和4年10月11日(予定)

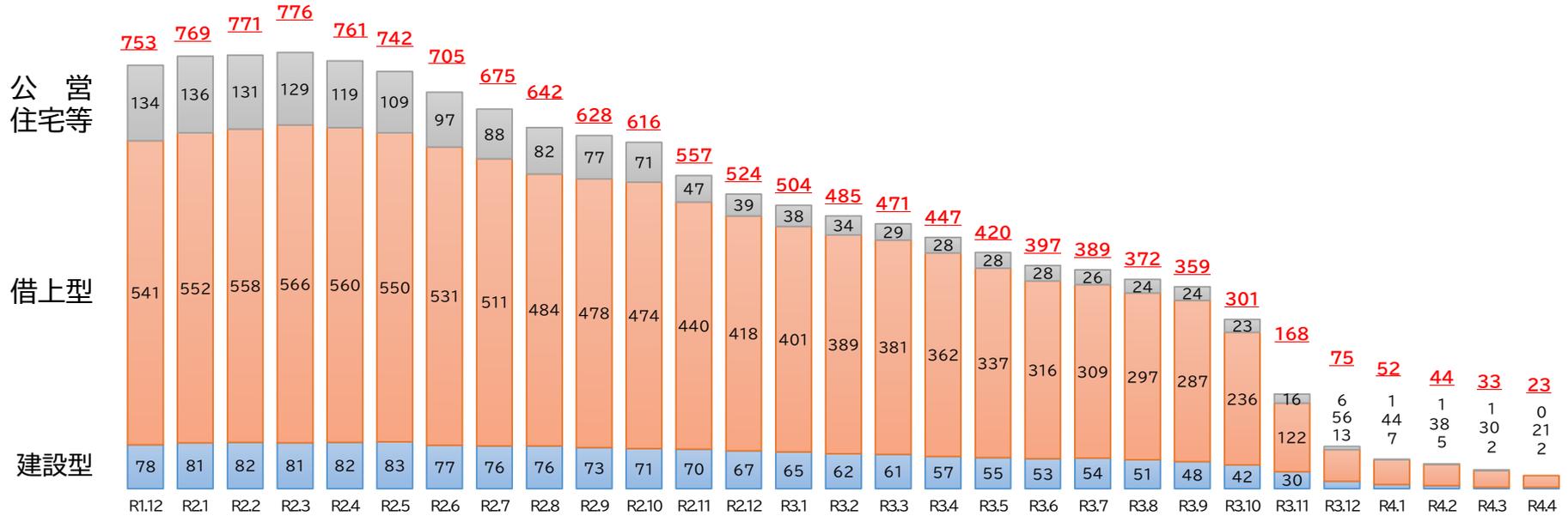
[借上型仮設住宅]

団地名	—	入居受付戸数	退去戸数	現在入居戸数
(民間賃貸住宅)	—	595戸	574戸	21戸

[市営住宅等]

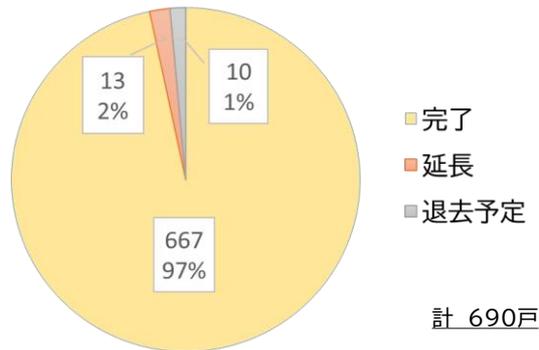
住宅区分	提供戸数	入居受付戸数	退去戸数	現在入居戸数
市営住宅等(市)	123戸	76戸	76戸	0戸
県営住宅等(県)	143戸	71戸	71戸	0戸
合計	266戸	147戸	147戸	0戸

【入居状況の推移(単位:戸)】

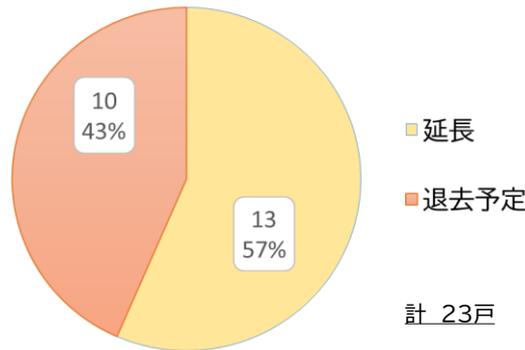


住宅再建の進捗状況(単位:戸)

【全仮設住宅入居者(総計)】



【現入居者】



【全仮設住宅入居者】

・仮設住宅に入居していた者(入居中を含む690戸)のうち、住宅再建が完了している者は 667戸(97%)

【現入居者】

・延長者(13戸)は、最長で令和4年10月11日までには退去予定
 ・退去予定者(10戸)は、最長で令和4年10月29日までには退去予定

【赤沼公園】 園路広場、遊具、トイレ等の復旧は令和2年度完了
芝生の復旧は令和3年度完了

赤沼公園



被災直後



災害廃棄物仮置き



復旧後

1 被災家屋等における上下水道料金の減免（令和元年度実施）

対象者及び減免額	区分	件数	水量 (m ³)	金額 (円)
床上浸水に係るり災証明書が発行された上下水道の契約者 (全額免除)	水道	4,692	202,265	48,165,571
	下水道	4,939	157,923	36,265,084
床下浸水に係るり災証明書が発行された上下水道の契約者 (8m ³ 減免)	水道	287	2,460	418,351
	下水道	555	4,430	716,149
合 計	水道	4,979	204,725	48,583,922
	下水道	5,494	162,353	36,981,233

(参考) 県営水道給水区域の被災家屋等における水道料金の減免

被災家屋等の減免件数 及び金額	1,157	5,341,260
--------------------	-------	-----------

2 被災者の避難先家屋における上下水道料金の減免(R4.3.31現在)

住宅の種別	区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
応急仮設住宅 (建設型・借上型) (全額免除)	水道	982	4,402,051	2,867	16,408,446	1,459	7,501,723
	下水道	1,098	4,357,232	3,224	16,884,781	1,679	8,380,994
市営住宅、 県営住宅等 (全額免除)	水道	248	1,135,355	475	2,666,769	94	494,112
	下水道	281	1,167,778	525	2,743,032	94	481,371
民間アパート (全額免除)	水道	54	259,546	56	381,001	0	0
	下水道	54	235,881	55	358,043	0	0
親戚・知人宅同居 (一人5㎡/月減免)	水道	17	65,076	39	131,833	8	11,277
	下水道	21	77,070	41	125,787	8	10,230
合計	水道	1,301	5,862,028	3,437	19,588,049	1,561	8,007,112
	下水道	1,454	5,837,961	3,845	20,111,643	1,781	8,872,595

(参考) 県営水道給水区域の避難先家屋における水道料金の減免(R4.3.31現在)

避難先家屋の減免	171	649,077	465	2,753,635	10	54,967
----------	-----	---------	-----	-----------	----	--------

※県営水道は令和3年11月以降減免対象者なし

～鶴賀消防署 豊野分署の業務開始等～

◆ 令和4年5月1日 8時30分 業務開始

◆ 令和4年5月9日 開署式

災害対応状況(業務開始～5月15日現在)

災害種別	発生地区	出動件数
救 急	豊野地区	13
	長沼地区	1
	古里地区	1
	若槻地区	2
	飯綱町	1
	合 計	18
火 災		1
救 助		0
その他		0

【参考/救急件数推計】

事業計画時点での推計:最大450件程度

現在時点推計: ・18件/15日=1.20件/日

・1.20件*365日=438件



【参考・経過】

- 令和2年11月 事業決定(市部長会議)
- 令和2年12月 議会説明(12月定例会)
- 令和3年8月 着工
- 令和3年12月 建物竣工
指令システム、車両整備
- 令和4年4月 開署準備業務
- 令和4年5月 業務開始



オープニングセレモニー「テープカット」



式典(支所3階)



豊野町南郷地籍 火災対応状況
(5月14日 午前10時24分覚知)